

「ゆきかう那賀川推進会議」について

那賀川水系河川整備計画の策定
平成19年6月

基本理念

「安全で安心できる那賀川水系の未来が拓ける川づくり」

本計画を着実に実施し、那賀川流域の発展につなげていくためには
上下流の様々な課題を流域全体で認識しあうことが重要

ゆきかう那賀川推進会議の設立（平成20年3月）

流域交流民間団体

国土交通省

徳島県

阿南市

那賀町

学識経験者

企画

子供たちが
参加できる
交流イベント
などを企画

発信

情報発信の充実

連携

流域関係者への
さらなる参画の
呼びかけ

支援

流域内の交流や
地域おこしに取り
組んでいる団体や
人々の活動を支援

平成29年度の取り組み実績

【企画】

企画

8月6日那賀川の日 那賀川探検バスツアー

H28. 8. 6 流域内小学生

ダム見学、川口ダムエネルギーミュージアム見学、堤防工事現場見学、遊覧船乗船



H29年度が天候不良により中止のため、
H28年度の写真を使用



上流の子どもたちによる 下流域見学体験ツアー

H29. 5. 12 平谷小学校

NAKAなかキッズ交流事業（製薬工場、火力発電所）



長安口ダムにおける広報の状況

【企画】

一般及び学校関係者の方に対して、四国地整HP上にある工事現場見学の受付案内を更新するとともに、那賀町広報誌に『長安口ダム特設ページ』を設けて、ダム改造情報やなかがわ探検バスツアーなどを記載し広く周知。

また、那賀町・徳島県企業局主催の「スマート回廊探訪ツアーデー」に協賛し見学会を開催するとともに、旅行業への広報として、世界に誇る土木技術が詰め込まれた改造事業工事を観光資源として活用してもらうようインフラツーリズムにも対応。

土木工事専門技術者に対しては、土木工事専門誌の紹介記事や土木研究技術講演会の講演等により、広報の幅を広げる試みを実施。平成27年12月より堤体本体の大規模な切削を開始し、平成28・29年度には約2000人もの見学者があった。

内訳を見ると、県外からの見学者が約6割、技術者の見学が約2割程度となっている。

【長安口ダム見学者数】

平成19年度	見学者合計	55人
平成20年度	見学者合計	210人
平成21年度	見学者合計	160人
平成22年度	見学者合計	121人
平成23年度	見学者合計	238人
平成24年度	見学者合計	402人
平成25年度	見学者合計	154人
平成26年度	見学者合計	224人
H19～H26年度	合計	1,564人



那賀町子どもまつり
(天端仮設構台)



南部総合県民局長ほか
(長安口ダム右岸展望台)



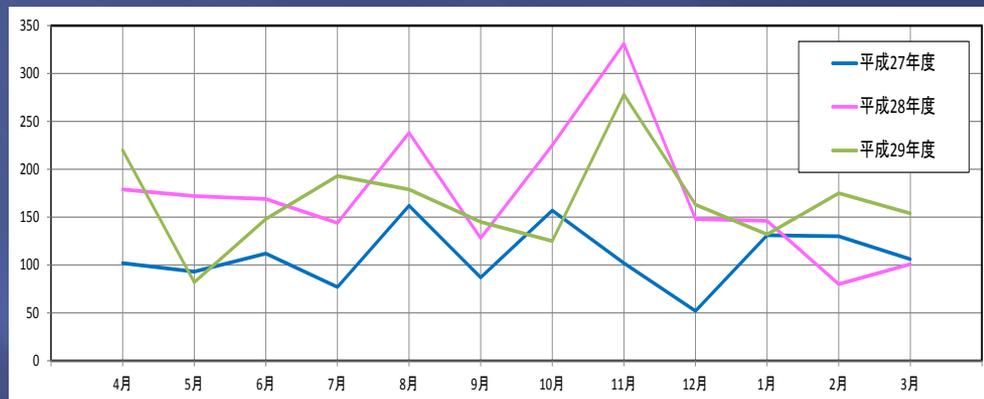
スマート回廊探訪ツアーデー

平成27年度	見学者合計	1,311人(うち県外、見学者約4割)
平成28年度	見学者合計	2,061人(うち県外、見学者約5割)

平成29年度	月別見学者	
4月	220人(うち県外、見学者約5割)	
5月	082人(" 約5割)	
6月	148人(" 約6割)	
7月	193人(" 約5割)	
8月	179人(" 約6割)	
9月	145人(" 約6割)	
10月	125人(" 約6割)	
11月	278人(" 約5割)	
12月	163人(" 約3割)	
1月	132人(" 約6割)	
2月	175人(" 約6割)	
3月	154人(" 約5割)	

(H30. 3月時点) 合計 1,994人

県外からの来訪者の割合も増えてきている



平成29年度の取り組み実績

【発信】

発信

出前講座

H29. 5. 9 大野小学校①



H29. 9. 7 大野小学校②

H29. 10. 19 大野小学校③

H29. 8. 23 中野島児童クラブ



H29. 8. 23 中野島児童クラブ

那賀川写真展

H29. 11. 2~H. 29. 11. 29
徳島阿波おどり空港



風土探訪マップ

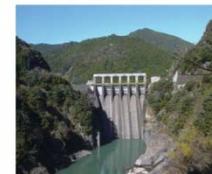
第4号・第5号 の編集・発刊作業

第4章 長安ロダムと高磯山の崩壊

◇長安ロダム

IV図B5

本体・貯水池ともに徳島県最大



▲長安ロダム

那賀川の長安地先に洪水制御、発電、灌漑用水の補給を目的として昭和31年1月に建設された那賀川総合開発の一環をなす重力式コンクリートダムです。

◇高磯山崩壊記念碑・慰霊之碑

IV図B3、IV図C4

天然ダムを形成した明治25年の大崩壊

つづら峠は、高磯山の崩壊によって作られた土砂ダムの水位が、この峠にまで達し、被災者の救助の拠点となり救助の舟が行き来した場所で、高磯山崩壊記念碑が建っています。この碑の台石が水位を示しています。また、対岸には高磯山崩壊から100周年を記念した高磯山崩壊慰霊之碑が建っています。



那賀川の風土を巡り訪ねる

第4号



ゆきかう那賀川推進会議

那賀川（長安口ダム）の特別番組を放映！ 【発信】

ケーブルテレビあなん「考えるたけ丸君TV」の特別番組を収録しました。

「那賀川を考える」をテーマに、那賀川の歴史や流域の現状及び課題を踏まえながら、主に下流地区（阿南市）のために行われている上流地区（那賀町）の事業（治水・発電・環境改善）などを説明することで、那賀川に対する阿南市民の理解がより一層深められるよう、「室内編」と「現地編」の2部構成としています。

番組は、室内編と現地編ともに1時間ごとの2部構成（合計4時間番組）とし、2月～3月に阿南市地域の放送で計20回、徳島県全域で複数回放送されました。



室内編



室内編



現地編（長安口ダム操作室）

【出演者】

阿南工業専門学校 湯城名誉教授

那賀川アフターフォーラム 中村会長

那賀川河川事務所 野本事務所長ほか事務所職員

VOL.1

前編・後編 収録



考えるたけ丸くんTV「那賀川を考える」

日降水量が日本一の実績を有する那賀川流域。その住民は過去より甚大な洪水被害を受けてきた一方、徳島県南部の工業・農業においてはなくてはならない川であり、多くの恩恵も受けております。今回、流域の住民の皆様に那賀川のことをもっと知っていただくため、那賀川アフターフォーラムと(株)ケーブルテレビあなんがタッグを組み、那賀川に関する番組を制作致しました。普段はあまり触れることの無い那賀川にスポットをあてた番組となっております。この番組を見ていただき、那賀川に興味を持っていただければ幸いです。

出演者 廣浦 雅俊(株式会社ケーブルテレビあなん・MC)
野本 稔浩(国土交通省四国地方整備局那賀川河川事務所長)
湯城 豊勝(阿南工業高等専門学校名誉教授)
中村 貴志(那賀川アフターフォーラム会長) 敬称略

平成30年1月23日収録

VOL.2

上流編・下流編 収録



考えるたけ丸くんTV「那賀川を考える」 現地ぶらり旅

VOL.1の室内編で話し合った那賀川の現状を実際に見てみようという現地ぶらり旅編を制作しました。上流の旧木沢村～那賀川河口まで総延長約70kmを2日間かけて野本所長が廣浦さんをエスコート。上流では土砂災害現場や現在改造工事を行っている長安口ダム、下流では加茂地区の堤防工事現場、また旧跡を巡り過去の人々の苦労や現在の状況を各担当者が解説。このぶらり旅を通じて那賀川に関心を持っていただければ幸いです。

出演者 廣浦 雅俊(株式会社ケーブルテレビあなん・MC)
野本 稔浩(国土交通省四国地方整備局那賀川河川事務所長)敬称略
協力機関等 徳島県企業局総合管理事務所・徳島県埋蔵文化センター事業課
徳島県教育委員会・阿南工業高等専門学校湯城名誉教授
中国四国農政局那賀川農地防災事業所 (順不同)

平成30年2月14・19日収録

●VOL. 1:「那賀川を考える(室内編)」の前編・後編を収録

●VOL. 2:「那賀川を考える(現地ぶらり編)」の上流編・下流編を収録

「りゅうな」の誕生・着ぐるみ完成

【発信】

阿南市立大野小学校の当時四年生18人と担任の谷先生により、那賀川のキャラクター「りゅうな」が誕生しました。

そして、「りゅうな」は流域内外の様々な方からの募金により着ぐるみにもなりました。

那賀川のキャラクター

りゅうな

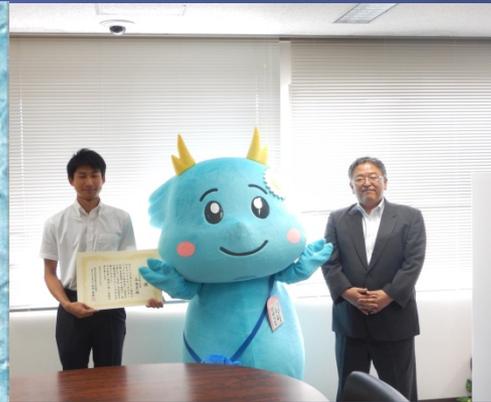


大野小学校4年生が那賀川のステキを伝えるために作ったキャラクターです。頭には、ナカガワノギクの髪飾り、肩には魚のバッグ、背中には源流からの山をつけていて、とても気の優しい子です。

プロフィール

名前 : りゅうな (竜那)
出身地 : 那賀川
性別 : 中性
たん生日 : 9月29日
好きなこと : ともだちと那賀川でぶかぶかうくこと
苦手なもの : しろなまず (おばけ)
年れい : 7さい
夢 : 那賀川を世界中の人に知ってもらい、いつまでも美しくこう水が起こらない川にする!

プロフィール



着ぐるみ

支援・連携

流域内の交流や地域おこしに取り組んでいる
団体や人々の活動を支援

H29. 4. 22
那賀川源流碑開き



H29. 10. 29
那賀川源流コンサート
四季美谷温泉前広場



H29. 10. 1
那賀川流域センチュリーラン

